

紹介受診重点医療機関検討票（基準○、意向○）

				作成日	令和6年2月9日		
(1)医療機関名	弘前大学医学部附属病院						
(2)担当者・連絡先							
(3)基準 <small>(初診40%以上、再診25%以上)</small>	初診基準	65.5%			再診基準	27.4%	
(4)重点外来ごとの割合 <small>※同一の診療日に重点外来が重複する場合があるため、基準と3つの合計は一致しません</small>	入院前後	高額等機器	特定領域	入院前後	高額等機器	特定領域	
	10.4%	28.4%	52.3%	10.7%	16.6%	2.1%	
(5)紹介率・逆紹介率 <small>(紹介50%以上、逆紹介40%以上)</small>	紹介率	95.3%			逆紹介率	82.8%	
(6)地域医療支援病院等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定機能病院			<input type="checkbox"/> 地域医療支援病院			
(7)病床数	一般病床	597床			療養病床	0床	
(8)「意向があり」の理由 <small>※考え方を記入してください</small>	特定機能病院である本院は既に医療資源を重点的に活用する外来(重点外来)に該当しているため。						
(9)紹介受診重点医療機関としての今後の方針	外来機能の明確化を図り、他医療機関との連携を強化し、地域での役割を果たしていく。						
(10)協議の場における協議内容及び結論	紹介受診重点医療機関となることについて、異議なし。 (令和5年度第3回青森県(津軽地域)地域医療構想調整会議)						
(11)結果等	引き続き紹介受診重点医療機関となる(公表(更新)日:令和6年4月1日)						

紹介受診重点医療機関検討票（基準○、意向○）

作成日	令和6年2月13日
-----	-----------

(1)医療機関名	独立行政法人国立病院機構弘前総合医療センター						
(2)担当者・連絡先							
(3)基準 <small>(初診40%以上、再診25%以上)</small>	初診基準	53.6%			再診基準	25.2%	
(4)重点外来ごとの割合 <small>※同一の診療日に重点外来が重複する場合があるため、基準と3つの合計は一致しません</small>	入院前後	高額等機器	特定領域	入院前後	高額等機器	特定領域	
	8.4%	34.0%	30.4%	12.3%	13.5%	2.4%	
(5)紹介率・逆紹介率 <small>(紹介50%以上、逆紹介40%以上)</small>	紹介率	68.3%			逆紹介率	63.1%	
(6)地域医療支援病院等	<input type="checkbox"/> 特定機能病院			<input checked="" type="checkbox"/> 地域医療支援病院			
(7)病床数	一般病床	442床			療養病床	0床	
(8)「意向があり」の理由 <small>※考え方を記入してください</small>	<p>当院の病院機能として、高度の医療を提供する立場から外来についても医療資源を重点的に投入する必要がある患者を診療することが役割だと考えている。</p> <p>また、外来機能報告等に関するガイドラインにおいて、紹介受診重点外来に関する基準を満たす地域医療支援病院については、原則、紹介受診重点医療機関となることが望ましいとされている。</p>						
(9)紹介受診重点医療機関としての今後の方針	<p>引き続き高度医療を提供し、紹介患者に対する医療を地域の医療機関等との連携を密にし、地域医療の充実を図って行く。</p> <p>また、症状が安定した患者に対しては、地域を支えてくださるかかりつけの先生方へ積極的に逆紹介を行う。</p>						
(10)協議の場における協議内容及び結論	<p>紹介受診重点医療機関となることについて、異議なし。</p> <p style="text-align: center;">（令和5年度第3回青森県（津軽地域）地域医療構想調整会議）</p>						
(11)結果等	引き続き紹介受診重点医療機関となる（公表(更新)日：令和6年4月1日）						

紹介受診重点医療機関検討票（基準○、意向○）

作成日 令和 6年 2月 9日

(1)医療機関名	弘前中央病院					
(2)担当者・連絡先						
(3)基準 <small>(初診40%以上、再診25%以上)</small>	初診基準	73.0%			再診基準	49.1%
(4)重点外来ごとの割合 <small>※同一の診療日に重点外来が重複する場合があるため、基準と3つの合計は一致しません</small>	入院前後	高額等機器	特定領域	入院前後	高額等機器	特定領域
	8.4%	34.0%	30.4%	8.0%	43.8%	1.3%
(5)紹介率・逆紹介率 <small>(紹介50%以上、逆紹介40%以上)</small>	紹介率	51.1%			逆紹介率	58.1%
(6)地域医療支援病院等	<input type="checkbox"/> 特定機能病院			<input type="checkbox"/> 地域医療支援病院		
(7)病床数	一般病床	174床			療養病床	0床
(8)「意向があり」の理由 <small>※考え方を記入してください</small>	津軽医療圏域において医療資源を重点的に活用とする外来としての役割を担っていると判断したため					
(9)紹介受診重点医療機関としての今後の方針	紹介率・逆紹介率ともに5割以上であり、当院の主な機能である放射線治療、人工透析、血管外科・心臓血管外科手術、がん治療（消化器・呼吸器）、肺結核治療、ペースメーカー埋込術・電池交換等の診療の特色を活かし、地域の医療機関との連携を図っていきたいと考えております。					
(10)協議の場における協議内容及び結論	紹介受診重点医療機関となることについて、異議なし。 (令和5年度第3回青森県（津軽地域）地域医療構想調整会議)					
(11)結果等	引き続き紹介受診重点医療機関となる（公表(更新)日：令和6年4月1日）					

紹介受診重点医療機関検討票（基準×、意向○）

				作成日	令和 6年 2月 9日		
(1)医療機関名	鳴海病院						
(2)担当者・連絡先							
(3)基準 <small>(初診40%以上、再診25%以上)</small>	初診基準	67.4%			再診基準	24.7%	
(4)重点外来ごとの割合 <small>※同一の診療日に重点外来が重複する場合がありますため、基準と3つの合計は一致しません</small>	入院前後	高額等機器	特定領域	入院前後	高額等機器	特定領域	
	0.9%	65.0%	28.2%	4.9%	20.2%	1.6%	
(5)紹介率・逆紹介率 <small>(紹介50%以上、逆紹介40%以上)</small>	紹介率	57.9%			逆紹介率	62.3%	
(6)地域医療支援病院等	<input type="checkbox"/> 特定機能病院			<input type="checkbox"/> 地域医療支援病院			
(7)病床数	一般病床	42床			療養病床	74床	
(8)「意向があり」の理由 <small>※考え方を記入してください</small>	引き続き紹介受診重点医療機関に指定されることにより、当院の役割を明確化し外来診療において患者の待ち時間の短縮、勤務医の負担軽減に繋がると考えているため。						
(9)今後、基準を満たす蓋然性 <small>※客観的な根拠を基に、説明してください</small>	令和3年度に比べ、令和4年度の急性期治療を必要とする入院患者数がコロナ感染症患者を受け入れたことにより減少している。そのため「医療資源を重点的に活用する入院」の前後30日間の外来受診が減少していると思われる。 今後、入院患者数の増加が見込まれ基準を達成できると考える。						
(10)基準の達成に向けたスケジュール <small>※欄に収まらない場合は、資料を添付してください</small>	年 月	具体的な取組				基準の状況	
	R6年3月	コロナ感染症患者の減少による入院前後の患者の割合の増加				初診：	再診：24.8%
	R6年5月	〃				初診：	再診：25.0%
		【参考資料】コロナ感染の入院患者が令和4年度で全体の30%、令和5年4月~12月までで全体の12%と減少している。コロナ感染症患者は「医療資源を重点的に活用する入院」に該当しない。今後「医療資源を重点的に活用する入院」の患者数の増加が見込まれ、「医療資源を重点的に活用する入院前後の外来」患者数の増加も見込まれる。				初診：	再診：
						初診：	再診：
						初診：	再診：
	初診：					再診：	
	初診：					再診：	
(11)協議の場における協議内容及び結論	紹介受診重点医療機関となることについて、異議なし。 (令和5年度第3回青森県(津軽地域)地域医療構想調整会議)						
(12)結果等	引き続き紹介受診重点医療機関となる(公表(更新)日:令和6年4月1日)						

紹介受診重点医療機関検討票（基準○、意向○）

作成日	令和 6年 2月 5日
-----	-------------

(1)医療機関名	八戸市立市民病院						
(2)担当者・連絡先							
(3)基準 <small>(初診40%以上、再診25%以上)</small>	初診基準	59.8%			再診基準	28.8%	
(4)重点外来ごとの割合 <small>※同一の診療日に重点外来が重複する場合があるため、基準と3つの合計は一致しません</small>	入院前後	高額等機器	特定領域	入院前後	高額等機器	特定領域	
	7.5%	27.0%	27.8%	14.1%	19.3%	0.0%	
(5)紹介率・逆紹介率 <small>(紹介50%以上、逆紹介40%以上)</small>	紹介率	77.2%			逆紹介率	113.8%	
(6)地域医療支援病院等	<input type="checkbox"/> 特定機能病院			<input checked="" type="checkbox"/> 地域医療支援病院			
(7)病床数	一般病床	572床			療養病床	0床	
(8)「意向があり」の理由 <small>※考え方を記入してください</small>	地域医療支援病院やがん診療連携拠点病院等の指定を受けており、地域の中核病院として高度急性期及び急性期機能の役割を担っているため。						
(9)紹介受診重点医療機関としての今後の方針	今後も地域の医療機関と連携し機能分化を図りながら、高度・急性期医療の提供を中心に、医療資源を多く投入し高度な医療機器・設備等を必要とする患者を重点的に受入れていく。						
(10)協議の場における協議内容及び結論	紹介受診重点医療機関となることについて、異議なし。 (令和5年度第3回青森県（八戸地域）地域医療構想調整会議)						
(11)結果等	引き続き紹介受診重点医療機関となる（公表(更新)日：令和6年4月1日）						

紹介受診重点医療機関検討票（基準×、意向○）

		作成日	令和6年2月13日			
(1)医療機関名	独立行政法人労働者健康安全機構青森労災病院					
(2)担当者・連絡先						
(3)基準 <small>(初診40%以上、再診25%以上)</small>	初診基準	35.8%		再診基準	22.5%	
(4)重点外来ごとの割合 <small>※同一の診療日に重点外来が重複する場合がありますため、基準と3つの合計は一致しません</small>	入院前後	高額等機器	特定領域	入院前後	高額等機器	特定領域
	5.4%	18.4%	25.2%	9.1%	14.2%	1.6%
(5)紹介率・逆紹介率 <small>(紹介50%以上、逆紹介40%以上)</small>	紹介率	59.1%		逆紹介率	41.9%	
(6)地域医療支援病院等	<input type="checkbox"/> 特定機能病院			<input checked="" type="checkbox"/> 地域医療支援病院		
(7)病床数	一般病床	300床 (R5.8.1時点)		療養病床	0床	
(8)「意向があり」の理由 <small>※考え方を記入してください</small>	紹介受診重点医療機関に認定していただくことで、地域医療支援病院として更なる地域医療の貢献を担っていけると考えるため。					
(9)今後、基準を満たす蓋然性 <small>※客観的な根拠を基に、説明してください</small>	<p>初診基準率、再診基準率の値が基準を満たしていないが、令和5年度実績（4～12月）で再診基準率については達成を見込んでいる。一方、初診基準率は依然基準を達成できていない。特に、高額等の医療機器・設備を必要とする外来件数について件数が低調なため、がん診療センターの機能向上を図り、広報活動などによる医療機器共同利用の推進を行い、初診紹介増や機器使用に繋げていくことで基準を達成できると考える。</p> <p>【参考：R5.4-12の基準値（分析ツール「MDV Act」を用いて推計）】 初診基準_36.4%、再診基準_27.0%</p>					
(10)基準の達成に向けたスケジュール <small>※欄に収まらない場合は、資料を添付してください</small>	年 月	具体的な取組			基準の状況	
	2024年4月	県の医療機器共同利用計画掲載の検討			初診：36.8%再診：23.1%	
	2024年7月	地域交流会等による医療機器共同利用の広報			初診：37.8%再診：23.7%	
	2024年10月	広報誌、講演活動等による広報活動			初診：38.8%再診：24.3%	
2025年1月	広報誌、講演活動等による広報活動			初診：40.0%再診：25.0%		
(11)協議の場における協議内容及び結論	紹介受診重点医療機関となることについて、異議なし。 (令和5年度第3回青森県（八戸地域）地域医療構想調整会議)					
(12)結果等	引き続き紹介受診重点医療機関となる（公表(更新)日：令和6年4月1日）					

紹介受診重点医療機関検討票（基準○、意向○）

				作成日	令和6年2月7日		
(1)医療機関名	青森県立中央病院						
(2)担当者・連絡先							
(3)基準 <small>(初診40%以上、再診25%以上)</small>	初診基準	44.6%			再診基準	27.2%	
(4)重点外来ごとの割合 <small>※同一の診療日に重点外来が重複する場合があるため、基準と3つの合計は一致しません</small>	入院前後	高額等機器	特定領域	入院前後	高額等機器	特定領域	
	7.7%	24.8%	29.9%	12.7%	15.6%	1.9%	
(5)紹介率・逆紹介率 <small>(紹介50%以上、逆紹介40%以上)</small>	紹介率	77.0%			逆紹介率	87.4%	
(6)地域医療支援病院等	<input type="checkbox"/> 特定機能病院			<input checked="" type="checkbox"/> 地域医療支援病院			
(7)病床数	一般病床	679床			療養病床	0床	
(8)「意向があり」の理由 <small>※考え方を記入してください</small>	<p>当院は、手術・処置・化学療法などを必要とする外来、放射線治療等の医療機器・設備が必要な外来を主に提供しており、紹介重点医療機関となり外来機能の明確化を図りたい。</p>						
(9)紹介受診重点医療機関としての今後の方針	<p>これまでどおり主に医療資源を重点的に投入する必要がある外来患者に対応することに加え、紹介・逆紹介の更なる促進を図ることで、医療機能を明確にしたい。 ひいては、外来待ち時間の短縮、医師の外来負担の軽減による働き方改革の実現など様々な課題の解決に取り組みたい。</p>						
(10)協議の場における協議内容及び結論	<p>紹介受診重点医療機関となることについて、異議なし。 (令和5年度第3回青森県（青森地域）地域医療構想調整会議)</p>						
(11)結果等	<p>引き続き紹介受診重点医療機関となる（公表(更新)日：令和6年4月1日）</p>						

紹介受診重点医療機関検討票（基準○、意向○）

		作成日	令和 6 年 2 月 6 日				
(1)医療機関名	青森市民病院						
(2)担当者・連絡先							
(3)基準 <small>(初診40%以上、再診25%以上)</small>	初診基準	46.5%			再診基準	27.1%	
(4)重点外来ごとの割合 <small>※同一の診療日に重点外来が重複する場合があるため、基準と3つの合計は一致しません</small>	入院前後	高額等機器	特定領域	入院前後	高額等機器	特定領域	
	7.2%	25.9%	28.2%	9.6%	18.2%	1.7%	
(5)紹介率・逆紹介率 <small>(紹介50%以上、逆紹介40%以上)</small>	紹介率	78.9%			逆紹介率	73.4%	
(6)地域医療支援病院等	<input type="checkbox"/> 特定機能病院			<input checked="" type="checkbox"/> 地域医療支援病院			
(7)病床数	一般病床	459床			療養病床	0床	
(8)「意向があり」の理由 <small>※考え方を記入してください</small>	平成24年に地域医療支援病院の承認を受けており、その役割を担っているところだが、紹介受診重点医療機関に指定されることにより、改めて当院の役割を地域に示し明確化できるため。医師の働き方改革が求められている中、外来診療における勤務医の負担軽減も期待できると判断したため。						
(9)紹介受診重点医療機関としての今後の方針	現在、地域医療支援病院として、地域の「かかりつけ医機能を担う医療機関」を受診し、必要に応じて紹介を受けた患者の治療をし、状態が落ち着いた後には逆紹介するなど、地域のかかりつけ医との連携を強化しているところ。今後も当院の役割や病院機能を維持していく方針である。						
(10)協議の場における協議内容及び結論	紹介受診重点医療機関となることについて、異議なし。 (令和5年度第3回青森県（青森地域）地域医療構想調整会議)						
(11)結果等	引き続き紹介受診重点医療機関となる（公表(更新)日：令和6年4月1日）						

紹介受診重点医療機関検討票（基準×、意向○）

				作成日	令和 6年 2月 8日		
(1)医療機関名	つがる西北五広域連合つがる総合病院						
(2)担当者・連絡先							
(3)基準 <small>(初診40%以上、再診25%以上)</small>	初診基準	48.3%			再診基準	22.4%	
(4)重点外来ごとの割合 <small>※同一の診療日に重点外来が重複する場合があるため、基準と3つの合計は一致しません</small>	入院前後	高額等機器	特定領域	入院前後	高額等機器	特定領域	
	4.6%	31.2%	23.3%	7.9%	14.6%	1.9%	
(5)紹介率・逆紹介率 <small>(紹介50%以上、逆紹介40%以上)</small>	紹介率	57.3%			逆紹介率	81.5%	
(6)地域医療支援病院等	<input type="checkbox"/> 特定機能病院			<input type="checkbox"/> 地域医療支援病院			
(7)病床数	一般病床	390床			療養病床	0床	
(8)「意向があり」の理由 <small>※考え方を記入してください</small>	<p>当院は圏域における中核病院として、救急・専門医療を集約的に担っているが、外来患者についても当院に集中しているため、患者待ち時間が長く、医師の外来業務負担も厳しい状況となっている。紹介受診重点医療機関として重点外来の基幹的役割を担うことを明確化し、地域医療連携を図ることで、当院の役割・機能を十分に果たしていくため。</p>						
(9)今後、基準を満たす蓋然性 <small>※客観的な根拠を基に、説明してください</small>	<p>初診基準については、既に基準を満たしており、紹介率・逆紹介率についても、参考の水準を満たしているが、再診基準については基準に対し不足している。</p> <p>今後、検査・処置を伴わない再診の患者については、引き続き逆紹介を推進していくとともに、クリニカルパス等の見直しによる入院患者の術前及び術後検査の外来化を推進していくことで、基準を満たす見込み。</p> <p>なお、分析ツール「MDVACT」を用いて令和5年4月から9月までの再診基準を推計したところ、27.6%となっており回復傾向にあるため、今後、基準を満たす蓋然性があると考えている。</p>						
(10)基準の達成に向けたスケジュール <small>※欄に収まらない場合は、資料を添付してください</small>	年 月	具体的な取組			基準の状況		
	令和6年2月	非紹介患者初診料・再診加算料定額負担増額			初診：48.3% 再診：22.4%		
	令和6年4月	術前及び術後検査の外来化・逆紹介推進			初診：48.3% 再診：23.0%		
	令和6年6月	術前及び術後検査の外来化・逆紹介推進			初診：48.3% 再診：24.0%		
令和6年8月	術前及び術後検査の外来化・逆紹介推進			初診：48.3% 再診：25.0%			
(11)協議の場における協議内容及び結論	<p>紹介受診重点医療機関となることについて、異議なし。 (令和5年度第3回青森県（西北五地域）地域医療構想調整会議)</p>						
(12)結果等	引き続き紹介受診重点医療機関となる（公表(更新)日：令和6年4月1日）						

紹介受診重点医療機関検討票（基準×、意向○）

	作成日	令和6年2月13日					
(1)医療機関名	十和田市立中央病院						
(2)担当者・連絡先							
(3)基準 <small>(初診40%以上、再診25%以上)</small>	初診基準	48.8%			再診基準	21.2%	
(4)重点外来ごとの割合 <small>※同一の診療日に重点外来が重複する場合があるため、基準と3つの合計は一致しません</small>	入院前後	高額等機器	特定領域	入院前後	高額等機器	特定領域	
	6.4%	31.0%	24.6%	8.5%	11.8%	1.5%	
(5)紹介率・逆紹介率 <small>(紹介50%以上、逆紹介40%以上)</small>	紹介率	61.2%			逆紹介率	81.4%	
(6)地域医療支援病院等	<input type="checkbox"/> 特定機能病院			<input checked="" type="checkbox"/> 地域医療支援病院			
(7)病床数	一般病床	315床			療養病床	0床	
(8)「意向があり」の理由 <small>※考え方を記入してください</small>	<p>以下により、当院は紹介受診重点医療機関と同等の機能を有していると思われまので、対象医療機関の意向有りいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紹介率及び逆紹介率の参考の水準を満たしている。 ・地域の医療機関との機能分化及び連携を充実し地域医療の確保を支援する「地域医療支援病院」を令和元年10月に取得している。 ・当院において、入院、救急、放射線治療及び化学療法等の急性期医療の提供が可能であり、重点医療機関としての役割を果たすことができる。 						
(9)今後、基準を満たす蓋然性 <small>※客観的な根拠を基に、説明してください</small>	<p>検査や処置等を伴わない再診の外来患者が全体を多く占めていることから、症状が安定した外来患者については、かかりつけ医に通院できるよう逆紹介を促進する。</p> <p>なお、分析ツール「MDVACT」を用いて令和5年4月から12月までの再診基準を推計したところ、28.8%となっており、今後、基準を満たす蓋然性があると考えている。</p>						
(10)基準の達成に向けたスケジュール <small>※欄に収まらない場合は、資料を添付してください</small>	年 月	具体的な取組				基準の状況	
	令和6年3月	医師に逆紹介を促進するよう周知する				初診：48.8% 再診：21.2%	
	令和6年4月	外来診療単価（1500円以下）が低い患者をピックアップし、医師に逆紹介を行うよう働きかける。				初診：48.8% 再診：21.2%	
	令和6年5月	医師が逆紹介を行う				初診：48.8% 再診：26%	
						初診： 再診：	
(11)協議の場における協議内容及び結論	<p>紹介受診重点医療機関となることについて、異議なし。 （令和5年度第3回青森県（上十三地域）地域医療構想調整会議）</p>						
(12)結果等	引き続き紹介受診重点医療機関となる（公表(更新)日：令和6年4月1日）						